11月場所予想番付

（年齢は、初日前日までの年齢）

大相撲星取クイズはこの"予想番付"に従って行います。日本相撲協会による本番付は、11月1日(月)に発表されます。

☆は横綱戦勝ち星、★は大関戦勝ち星です。（不戦勝は除く）

新入幕

返入幕

若元春

阿炎、天空海、佐田の海、松鳳山

力士カルテ	11月場所前過去の成績			過去1年間の番付毎の力士と勝敗						2021 5月	2021 7月	2021 9月	年間勝率 幕内通算勝率	優勝 三賞 金星	年齢 身長 体重	部屋 出身 大学	東 外国 大学	（よみがな） 力士名	番付 No	番付	番付 No	（よみがな） 力士名	西 外国 大学	部屋 出身 大学	年齢 身長 体重	優勝 三賞 金星	年間勝率 幕内通算勝率	2021 5月	2021 7月	2021 9月	過去1年間の番付毎の力士と勝敗						11月場所前過去の成績			力士カルテ
	'18	'19	'20	11月	1月	3月	5月	7月	9月																												
新横綱で初日から８連勝は、１５日制となった１９４９年夏場所以降６人目の快挙。１３勝で２場所ぶり５度目の優賞を決める。新横綱の優勝は、２０１７年春場所の稀勢の里以来９人目。自身初となる年間最多勝が確定。８月４日付けの官報で日本国籍を取得したことを告示。『杉野森正山』となる。年内にも第１子が誕生する予定。	三27 0-0・7休	下10 7-0 下優	小結 13-2 技能	白鵬 0-0 15休	白鵬 0-0 15休	白鵬 2-1 12休	白鵬 0-0 15休	白鵬 15-0 優勝	白鵬 0-0 15休	大関 12-3 優勝	大関 14-1 ★	横綱 13-2 優勝 ★★	83.3% 61.1%	5回 9回 0回	30歳 192cm 184kg	伊勢濱 モンゴル	外	てるのふじ 照ノ富士	1	横綱																		
黒星発進するも、馬力ある取り口で２日目から４連勝。１１日目に勝ち越し、その後４連敗で８勝止まり。腰高で雑な攻めに課題が残る。大関に昇進し約１年。直近３場所の白星が１ケタと振るわない。１１月５日に３０歳を迎える。	前4 8-7	前10 11-4 敢闘	大関 3-2・10休	貴景勝 13-2 優勝	貴景勝 2-8 5休	正代 7-8	朝乃山 7-5 3休	高安 10-5	正代 8-7	大関 9-6	大関 8-7	大関 8-7	57.5% 54.0%	1回 7回 1回	30歳 183cm 167kg	時津風 熊本 東農大	大	しょうだい 正代	3	大関	4	たかけいしょう 貴景勝		常盤山 兵庫	25歳 175cm 163kg	2回 7回 3回	63.0% 62.5%	大関 12-3 ★★	大関 1-2-12	大関 8-7	朝乃山 1-2 12休	正代 11-4	朝乃山 10-5	貴景勝 12-3	貴景勝 1-2 12休	貴景勝 8-7	小結 13-2 優秀敗	大関 9-6	大関 13-2 優勝	4度目のカド番で初日から３連敗。２日目から両膝にテーピングを施し出場。中盤から調子を上げ、強靭な精神力を発揮し、中日で星を五分に戻す。７日目から５連勝し、１２日目にカド番脱出。現行の力士番制度となった１９６９年名古屋場所以降、初日から３連敗してのカド番脱出は初。
三役通算２６場所目。３日目から４連勝し終盤まで連敗せず、千秋楽に勝って９勝を挙げる。２０１８年名古屋場所では史上３番目に並ぶ初土俵から所要２１場所での初優勝。２０１９年秋場所で優勝するなど、常に大関候補に挙げられるも、大関取りが叶わない。１２月２５日に２９歳を迎える。	関脇 7-8	関脇 6-9	関脇 7-8	御嶽海 7-8	照ノ富士 11-4 技能	照ノ富士 12-3 優休	高安 10-5	高安 7-6 2休	御嶽海 9-6	小結 10-5 ★★	関脇 8-7 ★	関脇 9-6 ★	56.7% 57.7%	2回 9回 2回	28歳 180cm 174kg	出羽海 長野 東洋大	大	みたけうみ 御嶽海	11	関脇	12	めいせい 明生		立浪 鹿児島	26歳 180cm 148kg	0回 1回 0回	56.7% 52.4%	前2 8-7 ★	小結 8-7	関脇 8-7 ☆	隆の勝 8-7	隆の勝 9-6	隆の勝 8-7	隆の勝 5-10	御嶽海 8-7	明生 8-7	小結 13-2 優秀敗	大関 9-6	大関 13-2 優勝	新関脇の場所。足が揃って前に落ちる内容が目立ち２連敗スタート。終盤、４勝７敗の崖っぷちから、１２日目に横綱を倒し、勢いに乗り４連勝し勝ち越し。新小結、新関脇と２場所連続の勝ち越し。豊富な稽古量には定評があり、スピード感あふれる速攻が持ち味。
８月２８日コロナウイルスに感染したと発表。出場も危ぶまれたが、調整不足のまま場所に挑み２連敗スタート。中盤まで黒星先行するも、２大関を倒し１０日から５連勝。三役で２０１８年秋場所以来３年ぶりの勝ち越し。９月２９日付けの官報で日本国籍を取得したことを告示。年寄名跡の襲名には日本国籍が必要で、現役引退後に親方として日本相撲協会に残る資格を得た。	関脇 6-9	前12 0-0・15休	前13 8-7	照ノ富士 13-2 技能	高安 9-6	高安 10-5	御嶽海 10-5	若隆景 5-10	高安 4-8 3休	前6 9-6	前2 10-5 ★★	小結 8-7 ★★	56.7% 53.5%	0回 3回 8回	28歳 190cm 206kg	湊 モンゴル	外	いちのじょう 逸ノ城	13	小結	14	きりばやま 霧馬山	外	陸奥 モンゴル	25歳 185cm 140kg	0回 1回 0回	46.7% 52.0%	前4 6-9 ★	前6 9-6	前2 9-6 ★★	高安 8-7	御嶽海 9-6	御嶽海 8-7	大栄翔 6-9	明生 8-7	逸ノ城 8-7	下12 6-1	十5 11-4	前筆 3-12	新三役を狙った場所。強靭な足腰を活かし、廻しを掴んで自己都合の初日から４連勝。場所途中、右足かかとを痛め厳重なテーピングをしての土俵。細身ながら着実に馬力が増し、鋭い出足と前みつを掴む取り口で２大関、２関脇、２小結を破る。終盤勝ち越しがかかってから３連敗と足踏みするも、終盤２連勝し９勝を上げ、新三役へ。
ここ２場所連続負け越しも、本来の突き、押し相撲が戻り、土俵際の粘りで９日目、通算３個目の金星獲得。１０日目から連敗するも、終盤４連勝し１０勝を挙げる。横綱の連勝を止める金星が評価され、４度目の殊勲賞獲得。１１月１０日に２８歳を迎える。	前9 9-6	前筆 8-7 殊勲	前2 10-5	霧馬山 3-12	宝富士 7-8	宝富士 3-12	若隆景 9-6 技能	遠藤 1-4 10休	豊昇龍 5-8 2休	小結 6-9 ★	前1 5-10	前4 10-5 殊勲 ☆	57.8% 50.1%	1回 5回 3回	28歳 182cm 162kg	追手風 埼玉		だいえいしょう 大栄翔	15	前1	16	わかたかかげ 若隆景	大	荒汐 福島 東洋大	26歳 181cm 130kg	0回 1回 0回	53.3% 59.1%	前1 9-6 技能 ★★	小結 5-10 ★	前3 9-6 ★★	若隆景 7-8	大栄翔 13-2 優秀技	阿武咲 4-11	北勝富士 6-9	大栄翔 5-10	隆の勝 7-8	十6 8-7	前16 4-1・10休	前筆 7-8	幕内通算９場所目。軽量ながら上下からの鋭い攻めで２連勝スタート。５日目から大関横綱戦で３連敗するも、終盤強靭な足腰で５連勝し、１４日目に勝ち越し９勝を挙げる。１２月６日に２７歳を迎える。４児の父。
合同稽古で白鵬から立ち合いの指導を受ける。立ち合いの踏み込みがよくなり、足の運びも速く持ち味の力強い押し、突きで初日から３連勝。終盤まで連敗せず４場所ぶりの勝ち越し。昨年秋場所以来の１０勝を挙げる。千秋楽に敗れ１年半ぶりの三賞を逃す。	前13 11-4 敢闘	前6 7-8	前2 7-8	阿武咲 7-8	宝富士 9-6	北勝富士 9-6	明生 8-7	隆の勝 8-7	北勝富士 2-3 10休	前5 7-8	前6 7-8	前6 10-5 ★	48.9% 51.8%	0回 4回 2回	25歳 177cm 153kg	阿武松 青森		おうのしょう 阿武咲	17	前2	18	たかのしょう 隆の勝		常盤山 千葉	26歳 185cm 164kg	0回 1回 0回	50.0% 53.3%	関脇 5-10	前2 8-7	前1 7-8	大栄翔 10-5	若隆景 0-0 15休	若隆景 10-5 技能	翔猿 5-10	逸ノ城 10-5	霧馬山 9-6	前13 4-11	前12 10-5	関脇 8-7	合同稽古に初参加。三役復帰をかけた場所。３日目の横綱戦で右膝を痛め、４日目からテーピングをしての出場。中盤白星先行も、１４日目勝ち越しがかかってから２連敗し、千秋楽に負け越し。１１月１４日に２７歳を迎える。
合同稽古に初参加。低く突き刺さるような立ち合い、鋭い出足で体が動き、左前廻しを取る取り口で初日から４連勝。終盤２日連続大関を倒し、２０１４年名古屋場所以来７年ぶり自己最多に並ぶ１１勝を挙げる。千秋楽まで優勝争いに加わるのは初。前さばきのうまさなどが評価され、８年ぶり６度目の技能賞を獲得。１０月２２日に３５歳を迎える。	前筆 8-7	前2 8-7	前5 4-11	輝 5-10	琴勝峰 2-13	明生 10-5 敢闘	碧山 4-3 8休	北勝富士 8-7	若隆景 9-6	前4 6-9 ★★	前7 5-10	前10 11-4 技能 ★★	45.6% 49.0%	0回 6回 6回	35歳 187cm 155kg	境川 兵庫 日体大	大	みょうぎりゅう 妙義龍	19	前3	20	おきのうみ 隠岐の海		八角 島根	36歳 190cm 158kg	0回 5回 4回	44.4% 48.7%	前12 9-6	前5 5-10	前8 10-5	隠岐の海 6-9	阿武咲 9-6	志摩ノ海 4-11	千代の国 0-4 11休	翔猿 4-11	琴ノ若 3-7 5休	前11 11-4	前筆 6-9	前3 6-9	場所前に痛めた左膝の影響もなく、終盤まで連敗せず四つ身の力強さと、前に攻める取り口で６日目から４連勝。１１日目に勝ち越し、２年ぶりの２桁１０勝を挙げる。幕内６７場所のベテラン。２年前の秋場所では、千秋楽まで優勝争いに残る。
持ち味を発揮した場所で「自然と体が動いた場所」とコメント。初日黒星スタートも、その後３連勝。連敗せず１１日目に勝ち越し１１勝を挙げる。入幕４７場所で相撲巧者も、過去途中休場が８回と怪我が目立つ。１０月１９日に３１歳を迎える。	前12 9-6	小結 7-8	前7 8-7	北勝富士 11-4	栃ノ心 4-11	霧馬山 7-8	霧馬山 6-9	琴恵光 2-13	玉鷲 6-9	前8 11-4 技能 ★★	前1 1-4・10 ★	前11 11-4	57.3% 51.0%	0回 6回 7回	31歳 183cm 148kg	追手風 石川 日本大	大	えんどう 遠藤	21	前4	22	たからふじ 宝富士	大	伊勢濱 青森 近畿大	34歳 185cm 168kg	0回 1回 3回	48.9% 47.6%	前7 7-8	前8 8-7	前5 8-7	翔猿 6-9	玉鷲 6-9	妙義龍 7-8	妙義龍 6-9	千代丸 4-11	大栄翔 10-5 殊勲	前8 7-8	前3 6-9	前6 9-6	中盤まで連敗せず白星先行。１１日目から３連敗するも、その後２連勝し千秋楽に２場所連続の勝ち越し。２００９年初場所の土俵から１度も休場がなく、幕内連続出場８７０回は現役１位。派手さはないが存在感のある力士。８月２５日に第３子となる長女が誕生。
幕内通算７場所目で自己最高位の場所。初日、大関を倒すも、５日目頭痛が治まらず「急性扁桃炎のため７日の自宅療養を要する」と診断書を提出し休場。３８度の発熱も検査は陰性。体場は２０２０年春場所以来２度目。８日目から再出場し２連勝。９日目幕内で約４年ぶりとなる一本背負いを見せるも５勝止まり。	下49 6-1	十13 7-8	前13 7-8	妙義龍 4-11	遠藤 7-8	遠藤 5-5 5休	豊昇龍 7-8	隠岐の海 5-10	千代翔馬 5-10	前5 7-8 ★★	前5 10-5 技能 ★	前1 5-8-2 ★	52.3% 52.4%	0回 1回 0回	22歳 187cm 132kg	立浪 モンゴル	外	ほうしょうりゅう 豊昇龍	23	前5	24	しまのうみ 志摩ノ海	大	木瀬 三重 近畿大	32歳 179cm 152kg	0回 2回 0回	52.2% 48.6%	前9 7-8	前9 8-7	前7 8-7	豊昇龍 10-5 技能	宝富士 8-7	千代丸 4-11	宝富士 8-7	千代丸 4-11	大栄翔 10-5 殊勲	十14 9-6	前10 6-9	前17 11-4 敢闘	体を丸くし、相手を一気にハズ押して持っていく取り口。また、腰が重くねちっこい押し相撲で黒星スタート。６日目から３連敗とするも、１２日目から４連勝し千秋楽に２場所連続の勝ち越し。
初日から４連敗スタート。４日目から腹部にテーピングをしての土俵。５日目から３連勝。１０日目に場所２度目の不戦勝も、１１日目の横綱戦で負傷し、１２日目「右大殿筋肋骨偏位の疑いで、約２週間の安静加療が必要となる見込み」と診断書を提出し休場。休場は２場所連続１０度目。６場所守っていた三役から陥落。	大関 12-3	大関 3-5・7休	小結 8-7	宝富士 9-6	竜電 4-11	玉鷲 5-10	英乃海 5-10	阿武咲 7-8	宇良 7-8	関脇 10-5 ★	関脇 7-6-2	小結 4-8-3	56.5% 55.8%	0回 9回 4回	31歳 187cm 177kg	田子浦 茨城		たかやす 高安	25	前6	26	たまわし 玉鷲	外	片男波 モンゴル	36歳 189cm 172kg	1回 3回 3回	47.8% 47.6%	前10 7-8	前10 11-4	前4 6-9 ★	玉鷲 8-7	輝 6-9	逸ノ城 7-8	逸ノ城 9-6	霧馬山 9-6	宝富士 8-7	千代翔馬 照強 10-5	前2 9-6	前4 8-7	前6 8-7	力強い押しを武器に２連勝スタート。６日目大関を倒すも７日目から４連敗。１３日目に負け越し、６勝止まり。２００４年初場所での初土俵以来休場なく、史上６位の連続連続出場１３７６回の鉄人。日本国籍取得の手続きを進めている。１１月１６日に３７歳を迎える。幕内最年長力士。入幕後の九州場所はゲンのよい場所。
幕内復帰２場所目。負傷前より体を大きく１４５キロに。柔らかさや反応のよさに力強さも加わった寄り、押しの決まり手が増えるも、初日から３連敗。５日目「送り月り出し」で１６年ぶりの珍手で白星を挙げるも、９日目から４連敗し１２日目で負け越し。今場所も技巧派力士として相撲ファンを魅了。	三33 7-0 三優	二106 6-1	十13 9-6	栃ノ心 9-6	明生 8-7	栃ノ心 7-8	栃ノ心 5-10	妙義龍 5-10	志摩ノ海 8-7	十2 12-3 十優	前13 10-5	前6 7-8	56.7% 56.4%	0回 0回 1回	29歳 176cm 147kg	木瀬 大阪 関西大	大	うら 宇良	27	前7	28	ことえこう 琴恵光		佐渡嶽 宮崎	29歳 176cm 134kg	0回 0回 0回	43.3% 43.8%	前12 9-6	前4 2-13	前11 8-7	遠藤 8-7	翔猿 6-9	輝 6-9	宝富士 7-8	千代翔馬 8-7	照強 5-10	十1 8-7	前7 5-10	前9 6-9	初日から２連敗のあと２連勝。５日目から４連敗するも、９日目から５連勝し、千秋楽に勝ち越し。小兵力士の為、体の大きな力士に体力負けする事が課題。１１月２０日に３０歳を迎える。
自己最高位で、初の上位総当たり。４日目から上位戦で４連敗するも、８日目に体の柔らかさ、懐の深さで大関戦初勝利。１０日目「左膝内側側副靭帯、右膝半月版損傷により全治１０日間の見込み」と診断書を提出し休場。休場は昨年７月場所以来２度目。１１月１９日に２４歳を迎える。	下9 3-4	十7 10-5	前14 7-8	碧山 6-9	徳勝龍 3-12	琴ノ若 6-9	剣翔 4-11	宝富士 8-7	隠岐の海 10-5	前11 7-8	前11 12-3 敢闘	前3 3-7-5 ★	52.9% 52.7%	0回 1回 0回	23歳 188cm 165kg	佐渡嶽 千葉		ことのわか 琴ノ若	29	前8	30	ちよしょうま 千代翔馬	外	九重 モンゴル	30歳 183cm 141kg	0回 0回 0回	49.3% 46.4%	前11 8-7	前7 8-7	前5 5-10	照強 5-10	霧馬山 8-7	翔猿 10-5	遠藤 11-4 技能	碧山 7-8	翔猿 7-8	前14 7-8	十3 8-7	前16 8-7	返り入幕から６場所、幕内通算２３場所目。常に上体が高く、軽量をつかれ、初日から７連敗。中盤から星を盛り返すも５勝止まり。５勝のうち３番の決まり手が上手投げ。立ち合いの変化も多い力士。下半身強化に努めてほしい。
幕内通算２９場所目。この２年、勝ち越し負け越しを繰り返す。初日大関を倒し２連勝スタートも、３日目から２連敗。４日目に右膝を痛め、５日目「右膝内側側副靭帯損傷にて９月場所の休場を要する」と診断書を提出し休場。休場は２０１８年夏場所以来２度目。	前筆 7-8	小結 7-8	前4 11-4	徳勝龍 8-7	千代の国 0-0 15休	千代の国 8-5 2休	志摩ノ海 7-8	英乃海 7-8	碧山 7-8	前1 6-9	前3 8-7	前2 2-3-10 ★	53.8% 53.0%	0回 2回 7回	29歳 185cm 166kg	八角 埼玉 日体大	大	ほくとふじ 北勝富士	31	前9	32	とびざる 翔猿	大	追手風 東京 日本大	29歳 175cm 134kg	0回 1回 0回	42.2% 46.7%	前2 5-10	前3 4-11 ★	前8 7-8	琴恵光 6-9	妙義龍 8-7	豊昇龍 8-7	輝 6-9	志摩ノ海 8-7	英乃海 7-8	十11 8-7	十10 8-7	前4 6-9	幕内通算７場所目。よく体が動き、初日から３連勝するも、６日目から６連敗し、１３日目に３場所連続の負け越し。今年５月場所は３日目から８連敗、７月場所は７日目から８連敗と連敗が多い。
最高位、東関脇経験者。足が思うように前に出ず３連敗スタート。その後連敗なく星を盛り返すも、勝ち越しがかかってから２連敗し、千秋楽に３場所連続の負け越し。元気のない場所。	前12 11-4	前5 6-9	前8 6-9	竜電 9-6	志摩ノ海 9-6	翠富士 5-10	玉鷲 7-8	玉鷲 11-4	千代大龍 7-8	前3 4-3-8	前8 7-8	前9 7-8	50.0% 50.1%	0回 5回 1回	35歳 190cm 183kg	春日野 ブルガリア	外	あおいやま 碧山	33	前10	34	ひでのうみ 英乃海	大	木瀬 東京 日本大	32歳 185cm 168kg	0回 0回 0回	48.3% 40.0%	前6 5-10	前9 7-8	前9 7-8	明生 9-6	碧山 6-9	竜電 6-9	照強 7-8	照強 8-7	妙義龍 11-4 技能	十4 6-9	十4 8-7	十5 7-8	黒星スタート。右膝にサポーターをしての土俵で、５日目に５年ぶりの珍手「後ろもたれ」で２勝目を挙げるも、腰を痛めている影響か、１４日目に３場所連続の負け越し。
幕内通算５１場所経験のベテラン。白星スタート。前半３連敗した後３連勝。中盤から３連勝し、勝ち越しがかかった１２日目から４連敗し、千秋楽に２場所連続の負け越し。１１月１４日に３３歳を迎える。	前5 7-8	前11 9-6	前15 9-6	佐田の海 5-10	千代大龍 0-0 15休	千代大龍 6-9	琴ノ若 7-8	魁聖 6-9	遠藤 11-4	前14 10-5	前4 4-11	前10 7-8	48.0% 47.6%	0回 1回 3回	32歳 182cm 189kg	九重 東京 日体大	大	ちよたいりゅう 千代大龍	35	前11	36	ゆたかやま 豊山	大	時津風 新潟 東農大	28歳 184cm 174kg	0回 1回 0回	42.4% 43.8%	十4 8-7	十1 10-5	前14 8-7	炎鵬 3-12	琴恵光 6-9	琴勝峰 1-6 8休	千代翔馬 8-7	琴ノ若 12-3 敢闘	琴恵光 8-7	前10 5-10	前9 8-7	前12 6-9	３場所ぶりの幕内復帰の場所。得意の突き、押しで１２日目に勝ち越しがかかるも終盤２連敗。千秋楽に勝って、昨年春場所以来、幕内で１年ぶりの勝ち越し。９月２２日に２８歳を迎えた。
合同稽古の最終日に参加。９月１日に宮城野部屋の十両力士が新型コロナウイルスに感染したため、宮城野部屋所属力士は休場。全休措置となり、番付は据え置きとなる。	十5 8-7	前11 9-6	十3 8-7	豊山 6-9	逸ノ城 9-6	明瀬山 7-8	琴恵光 9-6	栃ノ心 7-8	石浦 0-0 15休	前16 7-8	前16 9-6	前12 0-0-15	53.3% 45.8%	0回 1回 0回	31歳 172cm 118kg	宮城野 鳥取 日本大	大	いしうら 石浦	37	前12	38	あび 阿炎		錣山 埼玉	27歳 188cm 154kg	0回 2回 2回	0.0% 52.5%	下7 7-0 下優	十14 11-4	十5 13-2 十優	魁聖 6-9	照強 7-8	碧山 11-4 敢闘	隠岐の海 9-6	輝 7-8	栃ノ心 7-8	前7 6-9	小結 9-6	十11 0-0・15休	長い腕を活かし、諸手突きから回転のよい突張り、突き押しで４日目から１２連勝。２０１７年秋場所以来４年ぶり２度目の十両優賞で８場所ぶりの幕内返り咲き。関取となって１２連勝は自己最多。昨年名古屋場所中、日本相撲協会のガイドラインに違反し３場所出場停止処分で幕下下位からの復帰。
大関から陥落し２年を迎える。膝の状態が思わしくなく元気のない場所で、初日白星のあと４連敗。廻しを掴み自分の型になって９日目から５連勝とするも、その後２連敗し７勝止まり。今年に入ってから勝ち越しが１度もない。１０月１３日に３４歳を迎える。	大関 8-7	関脇 2-3・10休	前7 9-6	豊昇龍 7-8	天空海 5-10	照強 8-7	明瀬山 1-7 7休	千代丸 6-9	輝 7-8	前7 5-10	前12 7-8	前12 7-8	43.3% 49.5%	1回 11回 2回	34歳 191cm 182kg	春日野 ジョージア	外	とちのしん 栃ノ心	39	前13	40	てるつよし 照強		伊勢濱 兵庫	26歳 169cm 117kg	0回 1回 0回	44.4% 47.1%	前10 7-8	前10 8-7	前7 5-10	逸ノ城 8-7	千代翔馬 0-0 15休	千代翔馬 8-7	大竜美 7-8	宇良 10-5	剣翔 5-10	十5 10-5	前14 8-7	前8 5-10	幕内通算１５場所目。軽量を補うためスピードを活かし、左差しを浅く取って拝むようにしつこく攻める取り口。中盤まで五分の星も、７日目から６連敗し負け越し。
日本相撲協会のガイドラインに違反し６場所連続出場停止処分を受けている。復帰は、来年の７月場所の見込み。８月１６日、急性心原性肺水腫のため父の石橋靖さんが急逝。	前5 6-9	小結 11-4 技能	大関 1-2・12休	千代の国 10-5 敢闘	豊昇龍 9-6	琴恵光 8-7	竜電 0-0 15休	大竜美 4-11	魁聖 6-9	大関 7-5-3	大関 0-0-15	関脇 0-0-15	64.4% 60.3%	1回 6回 1回	27歳 187cm 170kg	高砂 大山 近畿大	大	あさのやま 朝乃山	41	前14	42	ちよのくに 千代の国		九重 三重	31歳 181cm 146kg	0回 2回 1回	54.8% 48.4%	前3 0-4-11	前16 7-8	前17 9-6	琴ノ若 7-8	翠富士 9-6 技能	剣翔 9-6	千代大龍 10-5	千代ノ皇 7-8	豊山 8-7	前11 5-10	下2 3-4	前14 10-5 敢闘	体がよく動き、反応できた場所。昨年１１月場所以来の初日から５連勝。１１日目に３場所ぶりの勝ち越しを決め、１４日目には「つき手」の珍しい決まり手で勝ち９勝を挙げる。２年前に左膝の靭帯を痛め、一時は幕下下位まで番付を下げていた。
幕内通算２６場所目。１９４キロあった体重を１７６キロに大幅減量。よく体が動いた場所で、得意の突き、押し、叩きで３連勝スタート。その後３連敗するも、中盤３連勝し、１４日目に２場所ぶりの勝ち越し。	前16 4-11	前13 9-6	十4 8-7	千代大龍 9-6	豊山 7-8	豊山 4-10 1休	魁聖 9-6	剣翔 8-7	一山本 4-11	前16 8-7	前13 6-9	前16 8-7	48.9% 44.1%	0回 0回 0回	30歳 178cm 176kg	九重 鹿児島		ちよまる 千代丸	43	前15	44	かがやき 輝		高田川 石川	27歳 193cm 159kg	0回 0回 0回	41.1% 45.8%	前9 6-9	前12 7-8	前13 7-8	琴勇輝 0-0 15休	琴ノ若 10-5	英乃海 10-5	翠富士 0-0 15休	徳勝龍 7-8	千代ノ皇 4-11	前6 5-10	前13 10-5	前3 5-10	幕内通算３２場所目。５場所連続負け越しで挑んだ場所、前に出る力を発揮し２連勝スタート。中盤まで五分の星も、上体が高く、下がるとあっさり土俵を割り、終盤に失速し１４日目に負け越し。
３日目から６連勝し、１０日目で勝ち越し。後半４連敗するも、千秋楽勝って９勝を挙げ、３度目の返り入幕。柔道出身者で、得意技は押し、叩き、掛け投げ。過去幕内では５勝止まり。１１月６日に３１歳を迎える。	下8 4-3	十12 8-7	前16 9-6	千代丸 8-7	魁聖 0-0 15休	魁聖 8-7	石浦 7-8	千代の国 7-8	千代丸 8-7	前17 5-10	十2 8-7	十1 9-6	42.2% 42.2%	0回 0回 0回	31歳 184cm 167kg	立浪 茨城		あくわ 天空海	45	前16	46	さだのうみ 佐田の海		境川 熊本	34歳 183cm 140kg	0回 1回 1回	0.0% 46.2%	十6 6-9	十8 9-6	十3 10-5	天空海 9-6	明瀬山 9-6	大竜美 9-6	千代丸 8-7	石浦 9-6	徳勝龍 4-11	前10 7-8	前8 7-8	前11 5-10	幕内通算３６場所経験の実力者。合同稽古に初参加。攻めの鋭さが戻り、初日から４連勝。終盤敗なくニ桁勝利で５場所ぶりの返り入幕。過去、幕内での九州場所の勝ち越しがない。
幕内通算５８場所経験の実力者。大きな体を生かした四つ相撲も、終盤勝がなく、１２日目に２場所連続の負け越し。ここ２年余り幕内下位で低迷。	小結 3-9・3休	十5 11-4	前12 6-9	志摩ノ海 11-4 敢闘	佐田の海 5-10			天空海 5-10	一山本 8-7	前15 9-6	前11 6-9	前14 6-9	46.7% 47.1%	0回 3回 0回	34歳 194cm 194kg	友綱 ブラジル	外	かいせい 魁聖	47	前17	48	しょうほうざん 松鳳山	大	二所関 福岡 駒澤大	37歳 178cm 135kg	0回 4回 5回	0.0% 46.1%	十6 8-7	十1 5-10	十4 10-5								前7 10-5	前8 8-7	十2 6-9	黒星スタートも、８日目から５連勝。終盤の２連勝で、３年ぶりの１０勝を挙げ、７場所ぶりの返り入幕。昭和以降、８番目の年長記録でご当地九州場所を迎える。得意技は突き、押しで運動量と持久力は幕内随一。幕内５０場所、最高位小結で三賞４度、金星５個を誇る。
大相撲３兄弟の次男。幕内関取若隆景を弟に持つ。体格は弟に優り、序のロ優勝１回、幕下優勝２回。初日白星スタートも、前半黒星先行。後半盛り返し、千秋楽に勝ち越し、通算１１場所を経て新入幕。得意技は左四つ、寄り。左を差すと十分に力を発揮。１０月５日に２８歳を迎える。	下7 4-3	十11 5-10	十6 8-7							＋9 9-6